

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	NA	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			2	ブレイルームは約80m ² と広く1人あたりの広さは法的にも大きく上回り確保。クールダンススペースはあるが個別必要時は衝立等で区切るなど工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1			法的基準職員数を上回り配置(児童10人に職員7人が平均)し、必要時個別対応ができるよう配慮。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	4	1	事業所が2階にあり(ERなし)肢体不自由児の受け入れは困難。賃貸にて今後も状況は変えられない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	5		1	毎日の振返りミーティング時等丁寧に励行している。職員会議の定期開催や学習会を定期的に開催している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		2	保護者等向け評価表の他、必要なニーズを把握するためには、適宜アンケート調査を実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	1	5	前回は配布にて公表。今回以降は、事業所のホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	5	第三者評価を評価機関を用いて実施する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2			OJTおよびOFF-JT共に1職員研修数は年間通じ多い。職員の資格取得応援制度有。他事業所との合同研修会を年数回開催。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3		2	面談や年度はじめに保護者様から細かな個人状況や目標を記述していただき計画を立案。毎日の振返りミーティングや個人記録でのアセスメントを十分生かせるよう書式改善したい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	2	4	日々の子どもの状況記録でのアセスメントは都度実施しているが、「標準化されたアセスメントツール」は用いていない、必要時とりいれていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		2	外遊びなども入れ、余暇と療育の観点で、年間・月間および週間活動内容(季節行事、集団活動等)はチームで行い、それを基に当日担当リーダーがプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3		2	季節行事を入れることで固定化しないように工夫している。・
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4		2	支援時間の長さなどにも配慮しながら設定し、休日の支援時間が長いからこそできる活動などを意識しながら活動している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		2	体力や発達段階に配慮およびご希望に応じ、個別活動や小グループで活動できるように作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1			スケジュール表を用いて打ち合わせしている。活動内容だけでなくスタッフの動きも含め確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1			毎日の支援後の振返りミーティングを重要な位置づけとし丁寧に実施。スタッフの良かった支援などを伝えあい記録に残すなどで支援向上に向けて工夫。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2			記録の記述量が子どもによって異なる場合があるので、その点に留意しながら改善したい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	1	2	半年に1回以上は見直しを実施。必要時、日々の記録の中で支援方法の追加・修正を実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	1	2	1	5	余暇と療育をバランスよく組み合わせながら支援している。ガイドラインに目を通してない職員もいるため、改めて確認する時間をとることが必要。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	2	2	4	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議は電話やメールで実施している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3		1	保護者と連携して年間および月間計画表の送付やメールなどでやりとりをする方法を周知しているが、連絡忘れなどのミスも有り、連携が不十分な面があるので改善が必要。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	4	受入れ対象として医療的ケアが必要な児童はいないが、必要時(てんかん薬や血糖コントロール等)保護者様を通じて主治医や学校に確認をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	4	3	就学支援シートやファイル等で連携できる仕組みがあるが実際の利用はない。保育所や幼稚園とは連携がないが発達センターは研修参加や見学等で連携。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	3	5	これまで卒業者がいなかったため、情報提供する機会はなかったが、次年度は卒業者がいるためH情報提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	3	4	発達センターの見学や研修など積極的に参加。発達センターの専門職に研修を依頼し、助言を受ける機会をつくっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	1	公園や外出活動を多くすることで交流できるようにしているが、今後は児童館なども受け入れあれば交流の機会としたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2		3	4	地域の作業所等連絡会や社協の行事や研修に積極的な参加を通して、地域福祉や地域自立支援競技会等と連携している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		2	提供記録をお渡しするだけでなく、連絡帳やメールなどでやりとりを密接に行うよう配慮している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	5	面談や連絡帳、メールなどを用いて必要時行っているが、全体的な観点でのペアレント・トレーニングの機会をもっていなため、今後開催を予定したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		4	入会時に施設独自の利用のしおりを用いて、丁寧に個別で説明をしている。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		3	都度、児童発達支援管理責任者を中心に丁寧に聞わるよう心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		4	法人バザー開催や地域のふくしまつりへの参加、年2回以上の保護者会を通じ、保護者同士の連携の機会を設定。ただし、保護者会の席で保護者同士の交流は少なく検討必要。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		1	スタッフ全員で共有し、さらに児童発達支援管理責任者および管理者が中心となって解決できるよう心がけている。
定期的・連絡体制	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		1	会報(にこにこ通信)の年3~4回の発行とホームページ(主にブログ)で情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	4		2	一斉メールの際にはBCCとするなどで、個人が特定されないようにしたり、ブログなどでも事前に掲載の有無を確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			2	意思疎通の方法など、各児童に合わせた配慮をより丁寧に実施することが今後も必要。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2		2	ハロウィンなどの季節行事で地域の方と交流したり、法人バザー開催、ふくしまつりへの参加など積極的に実施している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3		1	緊急時対応や感染症対策は保護者にも周知しているがマニュアル化はされていない。また防犯マニュアルは策定されていないので早急に策定し周知する。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		1	年1回の引取訓練と月1回の地震時および火災時の避難訓練を定期的実施。今年度の救出訓練は未実施にて早急に実施が必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		2	年に数回の外部および内部研修を実施するとともに、風通しの良い職場環境づくりに職員皆で心がけるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4		5	現在対象児童がいないが、必要時実施する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		1	法人独自の食物アレルギーに関する調査シートおよび指示書を保護者や医師に記載してもらい、職員に周知できるよう掲示している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		1	毎日、全員が共有できるよう日々のミーティング項目として話し合い、記録として残す。当日不在スタッフも出勤時に目を通すシステムにしている。